

# うちんくの公園じやま みんなあで！錦自治会

6月8日の日曜日、朝早く、吉川町の錦地区にある錦児童公園を訪ねました。子どもからお年寄りまで大勢集まって作業をしていました。今年の春に植えた花の植え替えをしたり、植木の手入れをしたり…。今回は錦自治会の活動を紹介します。

## すつかり夏の装いに

空のプランターを子どもたちが運んでくると、大人たちは土と肥料を混ぜ合わせシャベルで入れます。並べられたプランターに、お年寄りや女性たちが「ベコニア」や「松葉ボタン」などを配色よく植え込んでいきます。手なれたもので見ると公園は100鉢近いプランターで飾られました。



子どもたちも掃除のお手伝い



一方、遊具周りの芝生を男性陣が短く刈りそろえ、くまで集めた刈り草を袋に詰めるのは子どもたち。大人と一緒に、いく袋も集めました。垣根のレッドロビンも定規を当てたようにきれいに刈りそろえられ、背の高い植木にはプロ級の腕前を發揮し、鋏の音も軽やかにすつきりと剪定されました。

各人の特技を生かして、作業を分担し、2時間足らずで公園はすつかり夏の装いに生まれ変わりました。

## 作業を終えて

「きれいな花が植わって気持ちがいい」「汗かくのに丁度の作業、しゃべり缶コーヒを飲みながらこんな会話が。子ども3人と両親、計5人で参加した家族に、一家総出で来てくれてありがとう」と声を掛けると、「いや、うちんくの公園じやま…」とお母さんの爽やかな笑顔が返ってきました。

花の植え替えは一年に4回。12年前から続いており、平成19年度にはこの自治会活動が評価され、県から地域花づくり奨励賞をいただきました。

## 地域でできることは

「人任せにしたり、行政に頼り過ぎないで、地域でできることは地域の組織力で取り組む」と北村信自治会長は熱っぽく語ります。

「花づくり事業は公園を花で飾るだけではなく、作業を通して地域の人々の心が一つになり、連帯意識が高まっていくところに大きな意義がある。子育て、老人福祉、防災安全、環境美化など、地域の抱えるいろいろな課題は地域住民の知恵や支え合いで、解決していこう！」

錦自治会員の思いがこの花づくり作業を通して温かく伝わってきました。



## 編集後記

いよいよ、お祭りシーズン到来！7月は「絵金」を皮切りに「マリン」「みなこい」と、個性的なお祭りでもちが盛り上がりです。

もれなく制覇してみませんか？(井)

表紙の写真を西佐古の田んぼで撮影してきました。素敵な笑顔で田植えをする子どもたち。手作業で田植えするのは重労働だけど、子どもたちは顔や服に泥をつけながら終始楽しそうに体験をしていました。

たくさんのお米が収穫できるといいですね。(m)

シカを捕獲すると少しは食用にするのですが、大半は山の中で土に埋めてしまおうです。「イノシシ肉」は聞いたことがありますか？7月13日(日)の吉川漁港・海岸清掃で試食されてみてください。(N)

## 《広報へのメール》

kouhoucity.kochi-konan.lg.jp

《香南市のホームページ》

http://www.city.kochi-konan.lg.jp